

第12回理事会議案

開催日時・場所：4月13日（日）10：00～12：30 東町会館2階大集会室

前年に倣い、この理事会の後の14：00～新旧理事顔合わせをしたいので、総会時に理事の交替が予定されている団体については、次期理事（候補）のご出席をご高配下さい。

議案

1. 前回会議記録等の確認

- ・第11回理事会議事録
- ・地域自治協議会規約改定案

2. 部会・委員会の活動報告

(1) まちづくり計画策定部会

第10回まちづくり計画策定部会（4月4日）報告

近隣センター移転計画対策委員会の人選

東丘版キャンドルロード開催に向けた準備委員会の設置

(2) 防災部会

第17回防災部会（3月23日）報告

(3) 環境委員会

第6回環境委員会（4月1日）報告

(4) 各部会・委員会の2013年度活動報告、2014年度活動計画及び

- ・部会：広報部会、まちづくり計画策定部会、防災部会
- ・委員会：東丘小学校芝生委員会、夏祭り実行委員会、新春交歓会実行委員会、コミュニティルーム運営委員会
- ・予算・決算資料、東町会館運営委員会

3. 2014年度夏祭り開催日程審議

本年度夏祭り反省会、理事会等では未定の状態でした。次の2案を候補として提案します。

1案：従来通りの考え方による8月23日（土）開催

2案：50年実績統計に基づき降雨確率の低い盆連休前8月2日（土）開催

…盆連休前では、北町が8月9日（土）に決定済みのため、その1週間前を提案します。

4. 自治会・団体間の連絡と相談

5. その他連絡事項

(1) 東町諸団体の年間行事予定（2014年4月～2014年11月行事）

(2) 共同募金事務費還元金の入金報告とお礼

(3) 定期総会 5月18日（日）13：00～14：00 東町会館2階集会室

2014年度第1回理事会 定期総会終了後開催

以上

第 11 回新千里東町地域自治協議会理事会議事録

1. 日時 2014年3月16日(日) 10:00~12:20

2. 場所 新千里東町会館2階

3. 出席者

*役員：小川会長、赤井・濱中両副会長、河野・清水千両会計

*理事：理事総数20名中出席者17名(上記役員5名を含む)

伊藤・和田圭・桑原・小笠・曾田・福岡(代理出席)(以上自治会)、寺村・山地・高野・十河・和田園・清水博(以上諸団体) (欠席理事：山中・富永・下野)

*監事：上田・大路

*事務局：柳原・玉富・山田

*オブザーバー：山本瑞・藤田・林(以上豊中市)、倉垣

4. 議事

1. 前回会議記録等の確認(配布資料)

・第10回理事会議事録について説明があり了承された。

2. 規約改訂について審議(配布資料)

- ・規約別表の理事・代議員の選出団体である東丘小学校、東丘保育所、第八中学校は、その長が公職の立場にあり、協議会における位置づけはいかにあるべきか、迷うところがある。特に、東丘小学校は地域の活動や倉庫として学校施設を借用することがあるが、校長が理事会の一員として裁決に加わった決定事項に対し、事後、事情があっても覆しにくい。理事であることが良いか、相談役またはオブザーバー(議決には加わらず、助言等を行う)として出席頂くべきか等議論がなされた。今回は結論を出さず、今後、継続的に検討していくことになった。
- ・地域別団体の表記については、自治会なのか管理組合なのかが分かるようにし、今後協議会に参加願いたいマンションについては建物の名称のみとするよう修正することとなった。

3. 部会・委員会の活動報告

(1) まちづくり計画策定部会(配布資料)

- ・第9回まちづくり計画策定部会の内容につき、配布資料に基づき説明があった。
- ・まちづくり計画策定部会は、新設マンション(ジェイグラン)の開発担当者と面会し、協議会への参加をお誘いするとともに、今後継続的に働きかけていく。
- ・このほか、千里中央地区の商業施設との協力関係を築いていくため、新聞「ひがしおか」にクーポン券を付けるプランについて、東丘小PTAの協力を得て、交渉を始めることとした。
- ・東町近隣センターの建替移転計画の進み具合について、市と府の担当者から説明を受けた内容につき、配布資料に基づき事務局より説明を受けた。
- ・新しい地区会館(現在の新千里東町会館)については、移転先建物全体に対し、現在の会館施設の有する価値と同じ価値分の面積配分となると想定されている。新たな地区会館の仕様については、地域のニーズを反映させるため、協議会が窓口となって対応していくことになった。
- ・この案件を担当する「近隣センター移転計画対策委員会」を新たに設置することとし、メンバーを、協議会(交流室・東町会館・コミュニティルームの各運営委員会及び環境委員会)、分館、福祉、防犯、新聞委員会、シニアクラブ連絡会、

街角広場、3-3自治会、商店会、公募住民とすることとした。

(2) 防災部会（配布資料）

- ・第16回防災部会の内容につき、配布資料に基づき説明があった。
- ・防災部会は、カセットコンロ、無線機、水等の備蓄品の購入を進めている。また協議会独自の避難所運営マニュアルの作成に向けて、京都市の事例を参考に話し合った。

(3) 環境委員会（配布資料）

- ・第5回環境委員会内容につき、配布資料に基づき説明があった。
- ・環境委員会は、市と協働でもみじ橋通りの雑木林の整備を行うこと等について、市と協議を進めている。また、アダプトロード清掃業務について、現在担当するコミュニティルーム運営委員会から環境委員会に移管を受けることになった。

(4) 各部会・委員会の2013年度活動報告及び2014年度活動計画（配布資料）

- ・定期総会資料について作成中である旨、資料により事務局から説明があった。
- ・次回、理事会までに全部についてまとめ、審議する旨、説明がなされた。

4. 自治会・団体間の連絡と相談（配布資料）

- ・グラントメゾン及び公民分館より配布資料にもとづき説明があった。

5. その他連絡事項

(1) 東丘小学校と第八中学校が2015(平成27)年度に50周年を迎えることから、東丘小学校PTAは担当部会を設けたとして、担当者5名の紹介があった。

(2) 東町諸団体の年間行事予定(2014年3月～10月行事)

(3) 地域自治協議会の役職者について、配布資料により選任届けの要請があった。

(4) 豊中市内の住居表示案内板の撤去

- ・案内板の劣化状況をみて順次撤去するとの説明があったが、撤去することについて東町は了承するとした上で、現状と異なる表示をこの後長く続けることは町に訪れた人に迷惑なことであり、また、ブルーシートで覆うことも見苦しく不具合である。撤去を直ちに出来ない事情があるのであれば、表示内容を早急に消去願うべきとの結論を得た。

(5) 第12回理事会 4月13日(日) 10:00～12:00 東町会館2階集会室

以上

第 10 回まちづくり計画策定部会議事録

日時等：2014 年 4 月 4 日（金）19:00～21:30

出席者：小川自治協議会会長（部会長）、高野、清水、十河、和田、吉山

事務局：武藤、柳原（記録）、山田協議会事務局長

小川部会長より、千里阪急百貨店のクーポン券を「ひがしおか」新聞に掲載する交渉については、現段階では、百貨店側の理解が得られないとして、見送ったことが報告された。

まずは東町近隣センターに働きかけ、「ひがしおか」81号にクーポン記事掲載を目指す。単に広告掲載という形だけではなく、「ひがしおか」の誌面に店長紹介、スタッフ紹介等店がアピールしたいポイントを掲載し、5千世帯に配布すれば、店側としても広告費節約等メリットがあるのではないかと考えた。その対価として店側には東町住民に対するメリットを提供してもらう。その後、千里中央の商業地区とは、完成したクーポン券掲載の「ひがしおか」を持参して交渉にあたった方がわかりやすく、先方の理解も得られやすいのではないかと考えた。

議事

1. クーポン券、会員カード、地域通貨の検討

会員カード、クーポン券の発行について予定していた企業訪問を中止した理由として阪急百貨店では数多い販売レジでの統一した対応が難しい、また、阪急側でみるとスケールメリットが小さいとして、この提案に載ってこないだろうと考えたことにつき、意見交換し、規模の小さい青葉などを対象にもう一度話しをしてみることにした。

また、大阪府内の老連（高槻・池田）が地元商店街で利用できるクーポン券の発行例があるとの情報があり、詳しく調査してみることにした。

次に、町起こし事業などで例のある地域通貨について、自治会加入率向上、新たな自治会の参加を期待する手段として、会員カード、クーポン券と合わせ検討することとした。資金手当てをどうするか、市の助成金を使えないか、どのようなボランティア活動に対し支給するかなど支給対象者間の公平性などいくつかの課題を調査、検討していく。

2. 新築マンションの東町地域自治協議会への参加の誘い

J グランについては、予定通り 9 月頃の自治会発足予定時期を待って行う。

読売文化ホールの建て替えによるマンションについては、時期が早すぎる。平成エスタート、MID 都市開発（関電関係）が当面の窓口になると思われる。

3. New 子育てサロン案

孤独になりがちな乳幼児を持つ母親を応援する取り組みについて提案があった。現行の子育てサロン参加者対象のアンケートの結果、月 1 回の子育てサロンを週 1 回ないし月 2 回にして欲しいとの要望が数多くあった。中には、「助けてくれる人がなく、孤独な中で育児をしている」との悲痛な声もあり、出来る限り早期にスタートさせたい事業である。ボランティアを募集し、出来る目途がつき次第実現したいとの提案がなされた。他の校区では月 2 回実施しているところも既にあり、地域のニーズを掘り起こして事業を検討する協議会としては実現したい事業である。自然発生的なもの、或いは場の提供

としての事業であればすぐ出来ることで、後押ししていきたいとの意見もあった。一方、協議会が担うべき問題か、協議会のどこが行うべきかなども議論された後、この事業は、福祉委員会、民生・児童委員の活動との関係が強いので、再度、福祉委員会と話し合った上で、協議会に提案願い、協議会の関わり方を検討することとなった。

4. 東丘版キャンドルロードの進め方

「東丘版キャンドルロード開催に向けた準備委員会」を設置することを決め、メンバー編成、予算措置など4月7日開催の役員・事務局会議に諮った上で、4月13日の理事会に提案することとなった。

5. 近隣センター移転問題

小川部会長より福岡市議を通じて漆間府議会議員に府への働きかけを依頼する。話し合いの席には太田氏の出席が望ましいので、太田氏の都合を考慮して日程調整することとなった。太田氏の資料によると、商店会、行政、住民が議論出来る場の立ち上げと公正な立場でアドバイスする学識経験者や専門家に加わって貰う事を検討する。

6. 高齢者介護施設誘致

清水氏より、要望書を豊中市長に提出している件に付き、現在UR（都市機構）で建て替え計画の住民説明会が行われている段階でその経過を見守っている。同時に、豊中市側にその旨を伝えているとの報告があった。

7. カーリンコンの講習会について

3月18日東町会館で行われたカーリンコンの講習会で東町自治協議会の協力を得たことについて東町老人クラブ連絡会会長の清水氏よりお礼の言葉が述べられた。

次回 まちづくり計画策定部会 5月2日 19:00～ コミュニティルームA

第17回防災部会（3月23日（日））会議録

出席者：山地（部会長）、伊藤（副部会長）、濱中（副部会長）、清水（協議会会計）、上田（福祉）、各自治会担当：桜ヶ丘（2名）、ガーデンヒルズ（1名）、ジオメゾン（2名）、シティハウス（1名）、グランドメゾン（1名）、UR都市機構（2名）、ローレルコート（1名）、アーバンライフ（1名）、OPH（1名）、コミュニティ政策室林氏（計18名）
（欠席・メゾン千里、東町3-3、商店会）

会議の進め方について・・・伊藤副部会長より

- (1) 防災備蓄品の搬入作業を実施した。
 - ・ 出席者全員で備蓄品の倉庫の確認もあわせて行った。
- (2) 本年度活動報告・決算報告（案）
 - ・ 決算は未完成
- (3) 次年度計画・予算案の検討をする。
 - ・ 活動として町全体の避難訓練を実施したい。
 - ・ 防災マニュアルの作成（東町版）
- (4) 次年度防災部会の名簿作成に関するお願い。
 - ・ 各自治会・管理組合の前任者の方は、引き継ぎをお願いします。
（後任者が決まるまでは、前任者で責任をもつ）
- (5) 一年間の活動を振り返って・・・各委員から
 - ・ 防災訓練・部会活動などで町の全体が理解できた。
 - ・ 防災訓練がきっかけで、マンションの備蓄品の購入や安否確認訓練ができた。
 - ・ 役割分担の確立（組織イメージの把握）。
 - ・ 防災組織が一年で変わるのはい、続けられる方向で。
 - ・ マンションと地域との連携を強化していきたい。
 - ・ 地域自治のスタートと共に防災組織の充実をのぞむ。
 - ・ 自助、共助、公助の役割分担をしっかりと理解する。
自助の大切さも実感できた。
共助、特に各マンションと東町との関係・連携を考えていく必要がある。
 - ・ マンションの自治会だけではなく、管理組合にも防災部会参加を呼び掛けしたい。
 - ・ 防災器具倉庫、備蓄品の管理も行っていく必要がある。
 - ・ 防災訓練は、季節を考えながら、来年度も行ってほしい。
 - ・ 防災部会員どうしの伝達系統を確立してほしい。

最後に豊中市コミュニティー政策室林氏から

今年度は東町として初めて防災避難訓練が出来たことはよかった。

避難訓練を継続して積み重ねていくことが、町の防災力につながっていきます。
と、感想をいただきました。

第6回環境委員会会議記録

開催日時：2014年4月1日（火）19:00～20:30

場所：東町交流室（新千里東町会館1階）

出席者：和田環境委員長、小川協議会会長、福岡、石丸、楠元

事務局：武藤、柳原（記録）

議事

1. 3月19日豊中市公園みどり推進課、藤原係長、武輪氏との打ち合わせ結果につき事務局、柳原より当日のメモを基に概要を報告した。

①街角広場主催の筍まつりについて、

収穫した筍の処理について、豊中市の見解は、竹林は市の財産であり、公共の物であるので、一部の住民が筍を持ち帰って利益を得ることは許されない。しかし、竹林の維持には成長の早い筍をその時期にある程度間引きをする必要が有ること、また地域住民が自然の存在を知り、関心を持ち、自然学習、環境維持活動を通じてコミュニティの再生に対して竹林が良い対象となることに理解を示した。

②地域住民による公園整備の体制作り

住民が雑木林や竹林に入るのは、安全上、技術上の問題がある。地域自治協議会が中心になって「自然保全の会」を育てていくことが望ましい。地域の有志を募って、竹や樹木の知識、整備の方法、残材の処理などを学び、経験を積んで活動できるようになることが望ましい。

2015年の春に向けて準備をし、実績を積み、地域で雑木林や竹林の整備ができる体制ができればと考える。

③豊中市と東町住民との雑木林整備共同作業について

雑木林の維持管理に対する豊中市の方針は「混成林」の維持である。千里竹の会の「竹林」整備とは若干異なる面がある。共同作業を進めるステップとして「自然保全の会」を自治協議会で立ち上げる。2014年度は実績作りにあて協働作業は行わない。

市は、桜が丘南側、東側周辺の雑木林の倒れた竹、倒木、落木などの撤去作業を行う。散策やゴミ拾いのため、住民が東町公園内の雑木林に立ち入ることは問題としない。

上記を環境委員会として周知徹底する。（雑木林に立ち入った住民と一部の東町住民とのトラブル回避の為。）

④安場池を親水公園として整備することについて

過去に水死事故（榎の木池）があったので、人が池に近づける形にはしたくない。

この豊中市の方針を転換するのは大変難しい。

現在は公園等の遊具が一斉改修の時期に来ており、予算的に此の事業が優先される。

安場池を親水公園にするには、大規模改修になり、市にその計画は無い。

せめて、子どもや、車いすの人が池面を見られるよう伸びるに任せた蘆などは丈を低く整備するよう要請していく。

⑤増えたカラスの対策

市に有効な対策は無い。食べ物を外に出さないことが第一。食べ物が無ければ自然に減っていく。環境委員会から「ひがしおか」に注意の記事を掲載する。

⑥排水の不具合による路面の冠水について

- ・長谷北橋西側の路面、落ち葉が排水溝を塞いで水が溢れる。対策を要請
- ・ガーデン、桜ヶ丘、シティハウスの赤ポストが有る三叉路、落ち葉が排水溝を塞ぐ上に雨の後は湧き水が止まらず、長く路面が冠水する。対策を要請
- ・阪急ホテル、URの間のこぼれび通り三叉路。排水が悪く路面が冠水する。URの建替工事と一緒に改修する話もあるが、まだ先の話なので何らかの対策を要請する。
- ・ライフサイエンス前の路面の冠水。対策を要請する。
- ・とよなかまちかどギャラリー付近の路面の冠水。対策を要請する。

⑦長谷池東側、ポプラ7本を伐採の後に平地が広がり、池に近づくと危険な状態になっている。防止対策を早急に講じるよう要請した。

⑧こぼれび公園付近の竹柵の内側に大量の竹の残材が置かれている。処理のため一旦公園側に出して積み上げる。安全に充分配慮するよう要請した。

⑨中央公園のあほんだら獅子の像付近は人目が届きにくく防犯上の不安を感じる。何らかの対策を要請したが回答を得ていない。

2. 和田環境委員長より、バリアフリー工事の進捗状況の報告があった（写真添付）

- ①もみじ橋通り、メゾン千里付近の坂道に手すりを設置する工事が完了しました。
- ②もみじ橋通り赤ポスト三叉路に設置されたスーパー防犯灯の車椅子での使用のための対策工事は一旦完了したように見えたが、再び赤コーンが置かれました。斜面が急なので安全対策を検討中です。
- ③桜が丘北側のグリーン地帯の獣道舗装工事の原状復帰が終了しました。

3. (仮称・グリーンアダプト) の組成 (もみじ橋通り桜が丘側の雑木林の整備)

環境委員会のアダプト清掃活動の一環として、付近の4団地(ガーデンヒルズ、ジオメゾン、シティハウス、桜ヶ丘)を中心に会員を募集し、東町の自然保全を目的にした会(仮称・グリーンアダプト)を組成する。此の会を本議事録1. ②公園整備③雑木林整備共同作業の活動へとつなげていく。

4. 赤ポストが有る三叉路の路面冠水対策(1の⑥)

ガーデンヒルズ千里中央、和田圭司氏より、もみじ橋通りの赤ポストが有る三叉路の路面冠水対策について、新千里東町四団体連絡会(ガーデンヒルズ、ジオメゾン、シティハウス、桜が丘、の四管理組合)連盟で豊中市長に直接改善要望をする形の書面が環境委員会和田委員長他に届けられた。この案件については、既に環境委員会から、豊中市

に対して、要望を出しているが、まだ具体的な回答には至っていない。

この案件については、地域自治協議会がまとめて豊中市に提出するのが筋である。

次回理事会にて和田圭司氏を通じ、四団体の管理組合理事長に、環境委員会への委員参加と（仮称・グリーンアダプト）の中心メンバーになって貰えるよう要請する。

5. 2014 年度活動計画

- ①自然保全を目的とした住民の会（仮称・グリーンアダプト）の組成と活動。
- ②まち歩きの実施 5月17日（土）10時～12時30分 主に千里東町公園と東町公園周辺の課題の抽出と対策。
- ③まち歩きの実施 6月14日（土）10時～12時30分 主に千里中央公園安場池周辺と箕面吹田道路側からの雑木林周辺の課題の抽出と対策。
- ④長谷池の清掃と市と共同作業の藻の除去。
- ⑤アダプトロード清掃活動

6. 2014 年度予算

5の①～④の活動に要する事務用品、清涼飲料水の購入費用として2万円を計上する。

次回、2014 年度第1回環境委員会

5月6日（火）コミュニティールームA（東丘小）19:00～





第 12 回新千里東町地域自治協議会理事会報告 2014 年 4 月 13 日

団体名・報告者	自治会・団体間 連絡・相談事項
<p>公民分館 寺村三郎</p>	<p>1 平成 27 年度公民分館 1 回運営委員会・体育委員会・文教委員会を開催します。 日時：4 月 27 日（日） 午前 10 時～11 時 運営委員会 午前 11 時～12 時 体育委員会・文教委員会 会場：いずれも新千里東町会館 自治会・団体の委員の方の出席をお願いします。 なお、運営委員会は、委員以外の方の傍聴参加を歓迎します。 ご希望の方は、4 月 19 日までに分館長寺村（090-1029-4648）までご連絡ください。</p> <p>2 分館春の講座のご案内 カローリング講座を開催します。 受け付けは、4 月 26 日（土）午前 10 時～コミュニティルームにて。 講座開催日 5 月 17 日（土）、31 日（土）午後 2 時～4 時、東丘小学校体育館にて。</p>
<p>校区福祉委員会 高野光男</p>	<p>1 賛助会費の集金結果報告（別紙参照） 校区福祉委員会は、小地域福祉ネットワーク活動を中心に「福祉の町づくり」を進めるため、賛助会員（賛助会費）を募りましたところ、昨年度までの減少傾向に歯止めとなるような若干の増加に転じました。各自治会の役員会等の場に福祉委員が出席させて頂き、役員の皆様にご協力をお願いし、それぞれにご協力頂いた賜物と御礼申し上げます。</p> <p>2 福祉委員の募集 福祉事業は、東町にとって、高齢化が一層進む一方、若い世代を含め住民が増えている時に、高齢者対象事業から、子育て支援事業まで益々重要になります。多くの各自治会では、役員の交代時期と思いますが、本年度の新しい福祉委員を選出頂きますようお願いいたします。</p>
<p>東町老人クラブ 連絡会 清水博文</p>	<p>カーリンコン講習会の開催結果について 高齢者でも親しみやすいニュースポーツの一つである「カーリンコン」の講習会を去る 3 月 18 日（火）に東町会館にて開催いたしました。 主催は東町老人クラブ連絡会ですが、地域自治協議会に後援をお願いいたしました。 指導者は藤田征夫氏（桜ヶ丘シニアクラブ会長・大阪府カーリンコン協会会長）で参加者は老人クラブの会員はじめ一般参加も含め、38 人でした。 ルールやプレイの仕方も簡単ですので、今後、高齢者を中心に愛好者が増えていくものと期待されます。 後援いただいたお礼を含めて、報告させていただきました。</p>

年度	総戸数	賛助会員	賛助金	入会率	賛助金／戸
2013	4647	1287	860,000	28%	185
2012	3913	1104	745,000	28%	190
2011	3797	1231	797,500	32%	210
2010	3738	1217	755,000	33%	202
2009	4176	1580	841,000	38%	201
2008	4123	1363	884,000	33%	214
2007	4123	1465	915,000	36%	222